

金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション(DX) ～ まず、デジタル化からスモールスタートしよう! ～

ご 案 内

主催：一般財団法人 素形材センター
一般社団法人日本金属プレス工業協会

デジタル技術の急速な進展にともない、従来の産業構造がダイナミックに変わろうとしています。このような中で我が国の製造業が生き残りを図るには、デジタル技術を積極的に活用して自らの競争力を高め、市場における優位性を確立することが求められます。この変革への仕組み創りの一つがDXです。

中小プレス企業といえども、このDXへの挑戦は避けては通れない状況にあります。本技術セミナーは、中小プレス企業をはじめ製造業に関わる経営者・責任者の方々にデジタル化とDXの必要性・重要性を認識していただくことを目的とし、すでに先進的に取り組んでいる企業のデジタル化の進捗状況を参考として紹介します。この講演を基にして中小プレス工場のDX実現への筋道を探ります。多数のご参加をお待ちしています。

●日 時 令和4年11月30日(水) 13:00～16:50
オンラインセミナー (Cisco Webex Meetingsを使用)

●プログラム

コーディネーター 元湘南工科大学 教授 片岡 征二

開会の辞----- 13:00～13:10
元湘南工科大学 教授 片岡 征二

1. 基調講演：「DXの必要性」と「アンケートに見る実際との解離」----- 13:10～13:55

令和3年度に機械システム振興協会から委託されてアンケート調査を実施した。その結果、中小プレス企業はデジタル化には期待するものの実際に取り組んでいる企業の割合は低レベルにあることが明らかとなった。「今、なぜDXが必要なのか？」を十分に理解できていないことが一因であろうが、モノづくりを取り巻く環境の変化を見つめればその必要性が見えてくる。

元湘南工科大学 教授 片岡 征二

2. プレス企業におけるデジタル技術の導入事例紹介

先進的なプレス企業のデジタル技術導入までの経緯、導入技術、今後の展望を紹介する。

① “金型見守りシステム” から製造現場DX活動へ----- 13:55～14:25

金型の異常をプレス音から検出してトラブルを未然に防ぐシステムとして、異業種 (ICTベンチャー) とのオープンイノベーションで開発したサービス「金型見守りシステム」をきっかけとして、コストの計算や品質情報の見える化などの製造現場DX活動推進への経過を紹介する。

日進精機株式会社 取締役相談役 加藤 忠郎

② IoTGOの導入と今後----- 14:25～14:55

弊社とグループ会社で共同開発したIoTGOの紹介を行う。生産設備の稼働状況を廉価で簡単に見える化し、稼働率向上とサイクルタイムの短縮を図り、生産性向上に役立っている。また間接業務の効率化や技能伝承を図るため、作業手順や品質チェックシートをクラウドで管理するIoTGOについても紹介する。

久野金属工業株式会社 代表取締役社長 久野 忠博

③ ダイセットのDXによるスマートな生産環境の実現----- 15:05～15:35

金属プレス加工における標準的な生産設備であるダイセットにセンシング技術を適用することで、金型、ダイセット、プレス機械といった設備の状態および不良・異常発生の検知を含めた工程状態を可視化・データ化するDX環境の構築、またその情報を活用して工程改善を実現した事例を紹介する。

株式会社ヤマナカゴーキン 価値創造推進室 室長 金 秀英

④ サーボプレスを活用したデジタル化事例----- 15:35～16:05

プレス加工は大量生産方式であり、不適合品の発生を防ぐことが非常に重要である。不適合品を出さないプレス加工にデジタルの技術を活用する事が求められている中、サーボプレスを活用したデジタル技術導入経緯と品質管理へのデジタル化事例をいくつか紹介する。

株式会社放電精密加工研究所 産業機械事業部 技術開発担当部長 稲田 篤盛

3. プレス業界のデジタル化から DX 化へ進展するための戦略----- 16:05~16:50

戦略事業で提案した「DX実現へのシナリオ」や「ロードマップ」を中心に、デジタル化の目標である DX への道筋を解説する。更に、中小プレス企業が目指すべき“将来の夢”となる「高度知能化プレス成形システム」についての構想を紹介する。

東京都立大学 システムデザイン学部 教授 楊 明

*状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。

●参加要領

◇定員 80名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費 会員価格：6,600円(消費税込み)
一般価格：13,200円(消費税込み) 講師資料はPDFで送信いたします。

素形材センター特別賛助会員・一般賛助会員、日本金属プレス工業協会会員は、会員価格となります。協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。

◇申込方法

素形材センターホームページからお申込みできます。 <https://www.sokezai.or.jp/pages/27/>



また、下記申込書に所要事項記入の上、E-mailでお申込みできます。
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301号室
一般財団法人 素形材センター 企画部
E-mail kensyu@sokezai.or.jp 電話 03(3434)3907 FAX03(3434)3698

◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書をメールで送ります。
(領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。)

◇申込締切 令和4年11月21日(月)

◇注意事項

- ・Cisco Webex Meetingsを使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。
 - ・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。
 - ・セミナーの録音・録画等や、本セミナーのコンテンツ(セミナー参加のURL、パスワード等)を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。
 - ・1名様につき1つのお申し込みとしてください。1社で複数名様をご参加の場合、それぞれお申込みください。
 - ・映像や音声がかかる場合がございます。ご了承ください。
 - ・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。
- ※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

申込書

素形材センター企画部 E-mail kensyu@sokeizai.or.jp

令和4年度オンライン素形材技術セミナー／第110回金属プレス加工技術研究会

「金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション(DX)
～ まず、デジタル化からスモールスタートしよう! ～」

申込日 令和4年 月 日

会社名		
住 所	〒	
電話番号		所属区分をご記入ください
E-mail		ア. 素形材センター特別賛助会員 イ. 素形材センター一般賛助会員 ウ. 日本金属プレス工業協会会員 エ. 上記いずれも該当せず
受講者氏名	ふりがな	
所属部署・役職		
備 考		

*メールマガジン 購読希望

素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。
定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。